

沖縄語教育支援文庫の開設に当たって

2008年8月

沖縄語教育支援文庫

沖縄語には、日本語の音声にない音声があります。一方、沖縄語の書き方の現状をみますと、一部の沖縄語普及の指導者は、沖縄語の全ての音声を日本語の仮名で表そうとして、日本語の仮名を二つ三つ組み合わせて沖縄語の一音を定義したり、文字遣いが日本語の文字遣いと不整合のまま指導したりしていますが、この仕方は児童や学習者にとって難解で、学習負担が大きく、日本語の誤りを誘発して児童らの学力低下を招く恐れがあるなど、教育上適切でないことが試験的使用によって判明しました。日本語にない音声を、日本語の文字で表そうとすること自体が、そもそも無理なのです。

当文庫では、沖縄語の音声で、日本語の音声と共通のものは日本語の仮名で表し、日本語にない音声は沖縄語用の仮名、即ち沖縄文字を使うことにしました。沖縄文字に著作権はありません。使用は自由です。当文庫では、原稿の表記法に十分留意して、児童らの学力の向上に役立つと思われるものを揃えています。

沖縄文字を使うには、沖縄文字を覚えなければなりません。覚えるのは、小学生が平仮名を覚えるのと同程度で、簡単です。英語を覚えるのに、a、b、cを覚えるのが面倒だと不平をいう人がいるのでしょうか。

ご自分の書き方に迷っている方は、沖縄文字を試しに使ってみませんか。ずっと使うかどうかは、その後で判断すればよいと思います。

現在、沖縄文字を使う人が増えつつあります。組織的に採用した学校もあります。特に、児童など学習者に向けての沖縄文字による教材を求める声が聞かれるのは、沖縄文字の好評の証しであると受け止めております。

当文庫は、このような現状に対応して開設したものです。多くの方のご意見やご要望を賜り、常時改善いたします。当文庫が多くの方々に利用されれば幸いです。